

# 令和2年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	01	自然・環境
取組の基本方針	01	人と自然の共生

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	野生鳥獣等保護管理事業
担当課	生活環境部環境室環境課

目的と 事業概要	鳥獣捕獲許可事務、外来生物対策、鳥獣等被害防止対策や野生生物との共存方法の啓発などを通じ、生態系の保全や鳥獣被害の防止を図る。
前年度までの 実施内容 と効果	<p>①鳥獣捕獲許可事務 北海道から権限移譲を受けた動物10種について、被害(生活環境、農林水産業、生態系)の防止を目的とした捕獲許可申請に基づく許可事務を行う。(H30年度鳥獣捕獲許可436件)</p> <p>②外来生物対策 江別市アライグマ・アメリカミンク防除計画に基づき、防除従事者講習を実施し防除従事者の育成及び防除従事者登録事務を行うほか、生態系被害防止目的の従事者に対する猟具貸出や市街地出没時の緊急捕獲を行う。(H30年度防除従事者登録158人)</p> <p>③鳥獣等共生推進 鳥獣等に係る苦情に対する対応や野生生物との共存方法についての普及啓発を行う。(H30年度鳥獣等苦情処理221件)</p> <p>④鳥獣等被害防止 農業振興課が所管する江別市鳥獣被害防止対策協議会への参加や、猟友会に対する猟期の有害鳥獣駆除依頼を行う。(平成30年度駆除数770羽・匹) また、令和元年6月10日に発生した市内でのヒグマ出没への対応で、注意看板やセンサーカメラ、箱わなの設置、パトロールなどを実施。(9/5北広島市設置の箱わなで捕獲)</p>
R02年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 ヒグマの出没対応として、猟友会の出動謝礼や、箱わなを整備することについて</p>

(単位:万円)

予算状況		H30決算	R01予算	R02要求	前年比
財源内訳	【積算内訳】				
	一般報償費	10.0	10.0	60.4	50.4
	消耗品費	3.7	3.6	4.5	0.9
	一般委託料		10.2	17.2	7.0
	備品購入費			64.9	64.9
	計	13.7	23.8	147.0	123.2
	国・道支出金				
	市債				
	その他		0.3	0.3	
	一般財源	13.7	23.5	146.7	123.2
主な増減理由(前年比)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>一般報償費:ヒグマ出没対応出動謝礼(1,400円×90時間×4ヵ月)を追加(50.4万円)</li> <li>消耗品費:ヒグマ捕獲用エサを追加(0.9万円)</li> <li>一般委託料:ヒグマ箱わな設置作業委託(6,300円×10時間×1.1)を追加(7.0万円)</li> <li>一般備品購入費:ヒグマ用箱わな1基を追加(64.9万円)</li> </ul>					

# 令和2年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	03	福祉・保健・医療
取組の基本方針	04	高齢者福祉の充実

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	介護人材養成支援事業
担当課	健康福祉部介護保険課

目的と 事業概要	<p>高齢化の進展に伴い、要介護者は増加する一方で、介護従事者については慢性的な人手不足が続いている状況であり、介護保険制度を維持していくためには、介護人材の確保・定着が急務となっている。本事業においては、介護の仕事に関心のある中高年齢者や子育てが一段落した主婦等の介護業務未経験者等を対象に、市と市内介護事業者が連携することにより、新規の介護人材の確保と市内介護事業所への人材の定着を図る。</p>
前年度までの実施内容と効果	令和2年度新規予定事業
R02年度の実施内容	<p><b>【意見募集にあたっての論点】</b></p> <p>中高年齢者や子育てが一段落した者等の介護業務未経験者を対象に、入門的研修を実施することで介護人材の育成を図り、市内介護事業所への就労支援を行うことで介護人材の確保を図るほか、入門的研修の受講者のうち、更なるステップアップを希望する者については、人材派遣会社による短期雇用により、市内介護事業者と連携した職場実習を行う。また、介護職員初任者研修の受講による資格取得を支援することで、市内介護事業所への人材の定着を図るとともに、市内に事業所がある介護事業者による介護人材ネットワークを設置し、介護人材に関する情報共有と透明性の確保を図る。</p> <p>定員：入門的研修 15名 資格取得や職場実習による就労支援 7名</p>

(単位:万円)

予算状況		H30決算	R01予算	R02要求	前年比
財源内訳	<b>【積算内訳】</b>				
	研修受講、職場実習等に関する委託料			1,086.2	1,086.2
	事業者との連絡用の郵送料			1.5	1.5
	事務費			0.7	0.7
	計			1,088.4	1,088.4
国・道支出金			544.2	544.2	
市債					
その他					
一般財源			544.2	544.2	
主な増減理由(前年比)					

# 令和2年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	04	安全・安心
取組の基本方針	01	安全な暮らしの確保

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	交通標識設置事業
担当課	生活環境部市民生活課

目的と 事業概要	<p>安全安心なまちづくり実現のため、交通危険箇所や交差点等で、市民に危険を認知してもらい、交通事故を未然に防止する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅街などで、交通危険箇所に注意喚起看板等を設置する</li> <li>・通学路上の横断地点にストップマークを設置し、横断時の左右確認を促す。</li> </ul>
前年度までの 実施内容 と効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民からの情報や通学路点検などで危険箇所を把握し、注意喚起看板等を設置。設置箇所は平成28年度16箇所、平成29年度16箇所、平成30年度8箇所。</li> <li>・毎年、通学路上ストップマークを全地点確認し、汚損がある箇所は張り替え、または通学路点検や小学校からの希望を反映し、新規設置を行う。設置・張り替え枚数は平成28年73枚、平成29年122枚、平成30年169枚。</li> </ul>
R02年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全に関する市民からの寄附金を活用し、交通死亡事故や地域要望のある交通危険箇所を対象に注意喚起看板等を設置する。</li> </ul>

(単位:万円)

予算状況		H30決算	R01予算	R02要求	前年比
【積算内訳】	巻付看板・ストップマーク購入費	19.6	18.5	20.7	2.2
	注意喚起看板等の設置工事			26.6	26.6
	既存看板の維持補修工事		8.3	8.4	0.1
	計	19.6	26.8	55.7	28.9
財源内訳	国・道支出金				
	市債				
	その他			26.6	26.6
	一般財源	19.6	26.8	29.1	2.3
主な増減理由(前年比)					
新規に注意喚起看板等の設置工事費を計上(26.6万円)					

# 令和2年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	04	安全・安心
取組の基本方針	02	地域防災力の向上

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	災害対応物品整備事業
担当課	総務部調整監付参事(危機対策・防災担当)

目的と 事業概要	<p>目的:災害に対応するための資器材及び避難所を開設する際の必要物品等を整備し、市民及び職員へ貸与又は提供する。</p> <p>概要:平成30年北海道胆振東部地震江別市災害検証委員会の検証結果を踏まえ、発災当初から最後まで開設する避難所は、今回開設した6箇所(コミュニティセンター、青年センター、市民会館、野幌公民館、東野幌体育館、大麻体育館)を基本とし、被害状況及び避難者数などの災害状況に応じ、耐震性・地域性などを考慮して、その他の避難所を順次開設することとしている。</p> <p>令和2年度からは、この6箇所の避難所の運営に必要な物品等及び備蓄場所の整備を行う。また、冬期の避難所生活を想定した物品の整備を行う。</p>
前年度までの 実施内容 と効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年から想定避難者1万人とし、必要物品等の整備開始</li> <li>平成29年度、避難所数(70箇所)と同等の発電機、投光器の整備完了</li> <li>平成30年度、毛布1万枚の整備完了</li> <li>令和元年度、北海道胆振東部地震で使用した毛布を補填整備したほか、冬期対応物品、衛生物品を重点的に整備開始</li> </ul>
R02年度の 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>検証委員会からの検証結果に基づき、発災当初に開設する避難所6箇所を計画的に整備をすることとし、令和2年度は2箇所の整備をする。また、冬期の避難所生活を想定し寝袋等を購入する。</li> </ul> <p>【意見募集にあたっての論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発災当初に開設する避難所の備蓄場所等の整備及び、冬期に対応した物品の購入について意見を伺う。</li> </ul>

(単位:万円)

予算状況	H30決算	R01予算	R02要求	前年比
【積算内訳】				
避難所用備蓄物品購入経費	617.0	465.0	686.7	221.7
備蓄場所整備経費			95.0	95.0
その他の経費			3.0	3.0
計	617.0	465.0	784.7	319.7
財源内訳				
国・道支出金			350.0	350.0
市債				
その他				
一般財源	617.0	465.0	434.7	△30.3
主な増減理由(前年比)				
◇避難所用備蓄物品購入経費				
【増加理由】				
冬期に対応した物品(寝袋、アルミマット等) 221.7万円				
◇備蓄場所整備経費				
【増加理由】				
備蓄場所の整備、避難所運営に必要な物品(ヘルメット等消耗品及び、無線機等備品)の整備 95.0万円				

# 令和2年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	05	都市基盤
取組の基本方針	01	市街地整備の推進

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	都市景観創出事業
担当課	企画政策部都市計画課

目的と 事業概要	<p>都市景観に対する意識の高揚と、江別らしい景観づくりへの理解と関心を高めるために、「まちづくり彩々展」を毎年、「江別市都市景観賞」と「えべつ都市景観フォトコンテスト」を3年毎に開催するとともに、景観パンフレットの発行により、景観に関する啓発・情報発信を行う。</p> <p>また、都市景観施設等の維持保全を図る。</p>
前年度までの 実施内容 と効果	<p>〈平成29年度〉 平成29年9月26日(火)～10月23日(月)に中央、野幌、大麻の各公民館と旧町村農場の4会場(各1週間)で「まちづくり彩々展」を開催。期間中の来場者数は延べ340人。</p> <p>〈平成30年度〉 平成30年10月2日(火)～10月29日(月)に中央、野幌、大麻の各公民館と都市と農村の交流センター「えみくる」の4会場(各1週間)で「まちづくり彩々展」を開催。期間中の来場者数は延べ395人。</p> <p>平成30年6月11日(日)～平成31年1月31日(木)にインスタグラム(SNS)を利用した「えべつ都市景観フォトコンテスト」を開催。応募総数414作品(応募者64名)。インスタグラムの「いいね！」の数(総数7,165票)の上位6作品を入賞作品とした。</p> <p>〈令和元年度〉 令和元年10月1日(火)～10月27日(日)に中央、野幌、大麻の各公民館と都市と農村の交流センター「えみくる」の4会場(各1週間)で「まちづくり彩々展」を開催。期間中の来場者数は延べ359人。</p> <p>令和元年8月1日(木)～9月30日(月)に「第19回江別市都市景観賞」を募集。27件の応募(自薦他薦)があり、11月18日(月)の景観委員会を経て、建造物部門2件、特別部門1件を都市景観賞に決定した。</p> <p>※まちづくり彩々展の来場者数は、パンフレット等の配布数からの想定人数。</p>
R02年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>毎年開催している「まちづくり彩々展」について、期間中の1日平均の来場者数が13人程度であり、景観に関する啓発効果としては限定的と考えられることから、令和2年度においては、休止することとする。</p> <p>なお、今後は、市のホームページにおいて、景観に関する情報発信内容の充実を図ることにより、都市景観に対する啓発に努めることとする。</p>

(単位:万円)

予算状況	H30決算	R01予算	R02要求	前年比
【積算内訳】				
一般報償費	4.5	12.3		△12.3
消耗品費	1.3	5.7		△5.7
印刷製本費	6.0	31.5		△31.5
光熱水費	3.2	3.3		△3.3
一般委託料	4.5	4.6		△4.6
一般負担金	3.0	3.0		△3.0
計	22.5	60.4		△60.4
財源内訳				
国・道支出金				
市債				
その他				
一般財源	22.5	60.4		△60.4
主な増減理由(前年比)				
<p>「まちづくり彩々展」の休止。 「江別市都市景観賞」及び「えべつ都市景観フォトコンテスト」の開催年ではないことから、当該経費は計上しない。 都市景観施設等の維持保全等に係る経費については、経常的経費であることから、必要最低限の額を一般管理経費に移動する。</p>				

# 令和2年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	06	子育て・教育
取組の基本方針	01	子育て環境の充実

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	待機児童解消対策事業
担当課	健康福祉部子育て支援室子ども育成課

目的と 事業概要	保育が必要な児童のうち、保育所等に入所できない児童(待機児童)を対象に、保育の提供体制の拡充や、保育の質の維持・向上を図ることにより、待機児童が解消され、安心して子どもを預け、働くことができるような環境づくりと子育て支援の充実を図る。
前年度までの 実施内容 と効果	<p>○子育て支援員研修の実施 小規模保育施設等における保育従事者養成のため、平成26年度より子育て支援員研修を実施している。平成30年度は35名が受講し修了証を交付した。(修了者総数 計134名)</p> <p>○保育士等人材バンクの開設 平成26年度より保育士等人材バンクを開設している。令和元年度は、登録できる職種の拡大や自治会回覧等で制度の周知を行ったことで登録者が増加しており、11月現在で20名となっている。(延べ登録者数47名)</p>
R02年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>○保育士等の人材確保策について 子育て世帯の転入増加や女性の就業率の上昇、教育・保育の無償化等により、教育・保育の需要は非常に高まっている。これまで、提供体制の拡大を図ってきたが、一方で、保育士等の人材確保は益々難しくなることが予測されることから、市内事業者に対し人材確保及び保育の質の維持・向上に関する支援を新たに実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奨学金返済支援事業</li> <li>・アパート借上げ支援事業</li> <li>・教育・保育施設見学バスツアー(保育士等養成校在学学生、潜在保育士対象)</li> <li>・保育士等研修費補助及び研修時の代替保育士経費補助</li> </ul>

(単位:万円)

予算状況		H30決算	R01予算	R02要求	前年比
財源内訳	【積算内訳】				
	保育士等の人材確保補助金			1,770.1	1,770.1
	子育て支援員研修開催経費	64.8	70.8	74.1	3.3
	その他経費※	58.4	215.1	5.0	△210.1
	地域型保育給付費※	31,070.6			
	計	31,193.8	285.9	1,849.2	1,563.3
	国・道支出金	22,443.6	31.2	860.3	829.1
	市債				
	その他	153.7	188.6		△188.6
	一般財源	8,596.5	66.1	988.9	922.8
主な増減理由(前年比)					
<p>○保育士等の人材確保補助金 1,770.1万円                      ※「その他経費」中、R01は小規模保育施設(旧白樺保育園)の汚水槽取替工事を実施予定(111.0万円)                      また、当該施設に係る修繕費は、R02より「保育園維持管理経費」へ統合                      ※「地域型保育給付費」は、令和元年度より「教育・保育施設等給付事業」へ統合</p>					

# 令和2年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	06	子育て・教育
取組の基本方針	02	子どもの教育の充実

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	小中学校ICT環境整備事業
担当課	教育部学校教育支援室学校教育課

目的と 事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の情報化を進めるため、ICT環境を整備するとともに、教員の業務の円滑化及び情報セキュリティ確保を徹底するため、教職員が使用する校務用コンピュータの整備・更新を行う。</li> <li>・小中学校におけるICT教育環境整備の一環として、小学校から中学校への学籍等のデータの円滑な引継や、校務の効率化による教職員の働き方改革等を行うため、市内小中学校全校に校務支援システムを導入する。</li> </ul>
前年度までの 実施内容 と効果	<p>令和2年度新規予定事業</p> <p>※情報教育推進事業(小学校)・情報教育推進事業(中学校)から教職員にかかる経費を移管</p>
R02年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来から整備している、教職員が使用する校務用コンピュータを計画的に更新する。</li> <li>・学校や児童生徒に関する様々な情報をデジタル化し、教職員間で共有するシステムを構築することで、教職員の事務負担を大幅に軽減するとともに、きめ細やかな指導の充実等を図るため、「校務支援システム」を市内小中学校全校に導入する。そのことにより、教育の情報化を進めるためのICT環境の整備を行い、教育の質の向上を図るとともに、校務の効率化を図り、教職員の働き方改革を推進する。</li> </ul>

(単位:万円)

予算状況		H30決算	R01予算	R02要求	前年比
財 源 内 訳	【積算内訳】				
	校務支援システムの整備に必要な経費			1,092.1	1,092.1
	情報教育環境維持管理経費	1,813.7	1,062.4	878.4	△184.0
	備荒資金組合償還金(校務用コンピュータ等)	438.7	908.0	1,877.7	969.7
	グループウェアサーバ更新に必要な経費			228.0	228.0
	計	2,252.4	1,970.4	4,076.2	2,105.8
	国・道支出金				
	市債				
	その他				
	一般財源	2,252.4	1,970.4	4,076.2	2,105.8
	主な増減理由(前年比)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援システムの整備経費(1092.1万円)</li> <li>・令和元年度整備校務用コンピュータ等の償還金の増(969.7万円)</li> <li>・グループウェアサーバ更新経費(228.0万円)</li> </ul>			

# 令和2年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	07	生涯学習・文化
取組の基本方針	01	生涯学習の充実

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	えべつ市民カレッジ(四大学等連携生涯学習講座)事業
担当課	教育部生涯学習課

目的と 事業概要	大学の知的資源を活用し、市民の様々な学習要求に応えるとともに、市民が問題意識と知識を獲得し、まちづくりに参画していくための学習の場とする。																																																
前年度までの 実施内容 と効果	<p>各大学で開催している市民公開講座と連携し、それらの講座を「えべつ市民カレッジ」として位置づけ、統一的に市民へ提供する。また、市民カレッジのひとつとして「ふるさと江別塾」を各大学2講座(全8講座)開催する。</p> <p>平成27年度からはカレッジ手帳を作成し、受講の記録(単位)に応じた学位の認定制度を導入。学位授与者には賞状を贈呈している。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">〔登録者(人)〕</td> <td colspan="2">〔連携講座〕</td> <td colspan="4">〔学位授与数(人)〕</td> </tr> <tr> <td>年度</td> <td>登録者</td> <td>年度</td> <td>講座数</td> <td>年度</td> <td>学士</td> <td>修士</td> <td>博士</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>358</td> <td>H28</td> <td>120</td> <td>H28</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>516</td> <td>H29</td> <td>155</td> <td>H29</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>643</td> <td>H30</td> <td>191</td> <td>H30</td> <td>13</td> <td>8</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td>合計</td> <td>26</td> <td>18</td> <td>11</td> </tr> </table>	〔登録者(人)〕		〔連携講座〕		〔学位授与数(人)〕				年度	登録者	年度	講座数	年度	学士	修士	博士	H28	358	H28	120	H28	6	1	1	H29	516	H29	155	H29	7	9	0	H30	643	H30	191	H30	13	8	10					合計	26	18	11
〔登録者(人)〕		〔連携講座〕		〔学位授与数(人)〕																																													
年度	登録者	年度	講座数	年度	学士	修士	博士																																										
H28	358	H28	120	H28	6	1	1																																										
H29	516	H29	155	H29	7	9	0																																										
H30	643	H30	191	H30	13	8	10																																										
				合計	26	18	11																																										
R02年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・博士号の次の奨励策として「学長奨励賞」を新設し、学位と同様に賞状を贈呈する。</li> <li>・学位 ⇒ 学士:50単位、修士:80単位、博士:120単位 学長奨励賞 ⇒ 600単位、900単位、1200単位 … 以降300単位ごとに贈呈</li> <li>・学位と学長奨励賞の授与者については市HPに氏名を掲載し(希望者のみ)、受講の功績を称える。</li> </ul>																																																

(単位:万円)

予算状況		H30決算	R01予算	R02要求	前年比
【積算内訳】					
一般報償費		116.0	116.0	116.0	
消耗品費		51.0	53.0	43.0	△10.0
印刷製本費		27.0	27.0	24.0	△3.0
計		194.0	196.0	183.0	△13.0
財源内訳	国・道支出金				
	市債				
	その他				
	一般財源	194.0	196.0	183.0	△13.0
主な増減理由(前年比)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・称号授与の際に贈呈する記念品代の購入数を精査し、消耗品費を減額(△10.0万円)</li> <li>・ふるさと江別塾のポスター配布場所を見直し、印刷製本費を減額(△3.0万円)</li> </ul>					